

CONTENTS

2010
10

地盤工学会誌

Vol.58 No.10 Ser.No.633

土と基礎

口絵写真 | 北海道支部における技術者への支援活動とその成果
地質研究所における地盤工学研究について

特集テーマ：北海道支部特集号

あいさつ	支部長挨拶 —北海道支部特集によせて— 1 ●徳長 政光
総説	北海道支部の将来展望—地盤工学研究の展開から— 2 ●三浦 清一
報告	北海道支部のあゆみ 4 ●武田 覚
	北海道の泥炭地盤の沈下と火山灰地盤の分布 6 ●神谷 光彦/池田 晃一/松本 和正
	北海道における最近の泥炭地盤対策技術 10 ●林 宏親
	北海道における地震による地盤災害とその後 14 ●西本 聡
	北海道における岩盤崩壊とその対策 18 ●西川 純一/伊東 佳彦
	凍上被害とその対策 22 ●鈴木 輝之
	北海道支部の社会貢献 —特に研究委員会活動について— 26 ●川村 志麻
	北海道支部における技術者への支援活動とその成果 28 ●石川 達也
技術紹介	泥炭性軟弱地盤における試験盛土の施工—北海道新幹線函館総合車両基地— 30 ●坂本 成良/井野 寿人/成田 仁/清田 三四郎
	北海道における特徴ある地盤工学技術 —杭と地盤改良を併用した複合地盤杭基礎（ガイドライン）— 32 ●富澤 幸一
寄稿	地質研究所における地盤工学研究について 34 ●八幡 正弘

複写をされる方へ

地盤工学会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、同協会より許諾を受けて下さい。但し(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業等法人による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人 学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3F

FAX：(03) 3475-5619 E-mail：info@jaacc.jp

なお、複写以外の許諾(著作権の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接、地盤工学会(連絡先は本文最終ページに記載)へご連絡下さい。

アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 FAX: 1-978-646-8600

	北海道土質試験協同組合の紹介	35
	●河野 純一／折笠 章	
(学生編集委員)	松本城の軟弱地盤対策工法	36
	●府川 裕史	
学会の動き (ISO だより)	ついにはじまる、室内土質試験の国際統一化 —第3回 CEN/TC341/WG6 (室内土質試験) 会議参加報告 (その2)—	38
	●地盤工学会 ISO 国内委員会	
技術手帳	光ファイバセンサによる斜面崩壊モニタリング	39
	●加藤 俊二	
講 座	土の化学・物理	
	1. 講座を始めるにあたって	41
	●小峯 秀雄	
	2. 土の化学・物理と鉱物学	43
	●佐藤 努	
	地盤構造物の設計コードと信頼性設計法	
	1. 講座を始めるにあたって	51
	●本城 勇介	
	2. 信頼性設計法による設計コード開発の概要	53
	●本城 勇介／鈴木 誠	
	近藤和夫氏のご逝去を悼む	前付
	近着の市販雑誌から、新入会員	61
	編集後記	62